

青果物



北海道 JAオホーツク網走 『ナガイモを米国・カナダへ』

【主な品目】

ナガイモ

【主な輸出先国・地域】

米国・カナダ

【輸出取組の概要】

- ◆「白くて甘味がある」、「安全である」と、JAオホーツク網走産のナガイモが米国・カナダで人気。
- ◆網走市とタッグを組み、網走市長がJAオホーツク網走組合長とともにトップセールスを実施。輸出国・販路の拡大に繋げる。

【輸出実績】

	輸出量(t)	出荷時期
平成26年度(26年2月～27年1月)	500	通年
平成25年度(25年2月～26年1月)	320	

【取り組む際に生じた課題】

- ・鮮度を保ったままでの輸送方法。
- ・米国・カナダでは、生食の習慣が普及しておらず、「オホーツク網走産ながいも」の認知度も低かった。

【生じた課題への対応方法】

- ・エンジン付きの輸出専用リーファー(定温)コンテナによる輸送。
- ・現地に出向き、日本総領事館公邸でのレセプションの開催やスーパーマーケットでの試食会で農協女性部の考案した「ながいもレシピ集」を英訳し配布するなど、美味しい生での食べ方などを紹介。

【取組の効果】

- ・米国、カナダでは、もともとアジア系住民に薬膳効果の高い食べ物として人気があり、生食(すり下しや千切り等)を紹介することで更なる需要の拡大に期待。
- ・現地では、日系スーパーなどで中国産の5倍以上の価格で販売可能。
- ・国内では需要の少ない4Lサイズが人気となり、生産者の所得の向上に寄与。

【今後の展望】

- ・利益が国内販売より1～2割ほど高く、また、日本の市況に左右されず安定価格での販売が可能なることから、輸出量を増やすことで生産者の所得増に期待。
- ・ローマ字の「NAGAIMO」として売り出し、オホーツク網走産ナガイモのブランド化や他国産との差別化を図る。

【ウェブサイト】 <http://ja-okhotskabashiri.or.jp>

【連絡先】 担当部署名:販売企画室、TEL:0152-43-2311



(カナダ)現地スーパーでの試食販売の様子



レセプション(在バンクーバ日本総領事公邸にて長芋を使った料理等による地域紹介の様子)